

No.412

# 恐竜の足跡化石

— 恐竜のダイナミックな動きにせまる —

## 恐竜の生痕化石

恐竜化石というと真っ先に骨や歯の化石が思い浮かぶと思いますが、足跡や皮膚痕、ふん、胃石、卵なども化石として残ります。これらの化石は地層や化石に残された生活の痕跡の化石ということで「生痕化石」とよばれています。特に足跡化石はダイナミックな恐竜の動きを我々に教えてくれます。

## 足跡化石からわかること

歯や骨の化石は恐竜が死んでから川などで流されて地層に埋まる場合が多いのですが、足跡化石はまさにその場所に恐竜が歩いていた証拠になります。恐竜の足跡化石からは、主に下の5つのことがわかります。

### 1 おおまかな種類がわかる

足跡化石の形から、足跡をつけた恐竜の種類（獣脚類などの大きなグループ）がわかります。ただし、特定の種類まで明らかにすることは難しいです。

### 2 体の大きさがわかる

足跡化石の長さの約4倍が、足跡をつけた恐竜の腰の高さになることがわかっているため、恐竜のおよその大きさがわかります。

### 3 歩き方がわかる

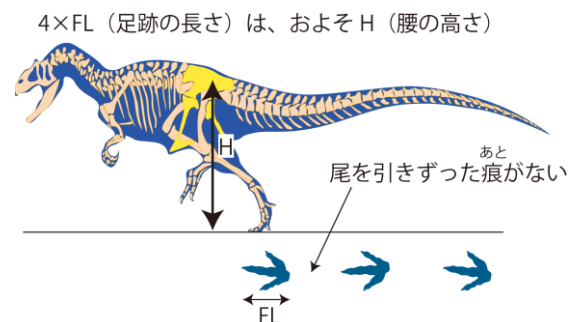
尾を引きずった痕がない獣脚類の連続した歩行跡からは、獣脚類は尾を持ち上げて、ほぼ1直線に歩いていたことがわかります。

### 4 歩いた速さがわかる

歩くときと走るときでは、走るときの方が1つの歩幅が大きくなります。足跡の大きさと歩幅から恐竜が歩いたスピードを計算することができます。

### 5 群れで行動したかどうかがわかる

足跡の連続した歩行跡が一つの方向に何列も並んで、ほぼ同じ歩幅で歩いていると、その恐竜は群れで行動していたことが推定できます。



特別展「恐竜-太古の足跡は語る-」（平成24年7月21日（土）～9月9日（日））では、国内外から発見された恐竜の骨格化石や足跡化石、皮膚痕化石などを展示し、富山の恐竜化石発掘調査の成果も紹介します。（藤田将人）